

# Bonsai sê Dankie

## ◎6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます!!

野芥小学校の皆さんこんにちは。日本は温かくなり、春の訪れを感じている頃でしょうか？綺麗な桜は咲いているでしょうか？ナミビアはまだまだ暑く、私は半袖を着ていて、家では扇風機が欠かせません。

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんと出会ったのは約5年前。皆さんは2年生、松下先生は先生1年生でした。先生になって初めての生徒ということで、とてもかわいらしくて、皆さんと過ごす時間がとても楽しかったことをいまだに鮮明に覚えています。(ずっと忘れることはないでしょう。)翌年(3年生)も皆さんと共に1年過ごすことができてとても幸せでした。

私から伝えたいことは1つ、「人生一度きり!やりたいことを全力で!!」です。やりたいことをやるというのは簡単なことではないと思います。なぜなら、やらなければならないこともたくさんあるからです。また、他人の目や自分の状況など様々な壁があるでしょう。しかし、皆さんの可能性は無限大です。これからいろんなことにチャレンジして、たくさんのことを学んで、豊かな人生を送ってください。これからも皆さんのことをずっと応援しています!!



👉 ナミビアの桜、「ジャカランダ」です。桜と同じく1年に1度決まった季節に咲き誇ります。花の色は紫色でとても綺麗です。

ご卒業おめでとう  
ございます!!  
中学校でも  
皆さんらしく  
がんばってください★



Live as if you were to die tomorrow.  
Learn as if you were to live forever.  
~Mahatma Gandhi~

## ◎ナミビアの教育システムとは!?

私はナミビアのオチワロンゴ地域にある「Vooruit Primary School」に勤務しています。「Primary School」とは小学校のことなのですが、「elementary schoolではないのか!?!」と不思議に思った方もいるでしょう。ナミビアの公用語は英語なのですが、イギリス系の英語なので、日本で学習している英語とは単語も発音も異なることが多いのです。(日本はアメリカ系の英語で学習していますね。)違いを見つけるのはとても面白いです。

公用語が英語のナミビアですが、様々な民族が共に暮らしているため、様々な言語が話されています。(詳しくは次号で!)私の勤めている学校は、アフリカーンスクラスと英語クラスがあります。プレプライマリー(幼稚園)~3年生まではそれぞれの言語で授業をするのですが、4年生からは全ての授業が英語になります。そのため、小学校にいる間にほとんどの生徒が英語を話すことができるようになるのです。

また、驚いたことにナミビアでは進級のためのテストがあります。そのため、テストに合格できない生徒は留年(小学校で最大2回まで)となり、もう一度その学年の学習をしなければなりません。一方日本は、義務教育の間、基本的に留年はありません。以前お伝えしたように、ナミビアは1月が新年度なので、卒業シーズンは12月です。

このように、日本とナミビアを比較すると様々な違いがあることが分かりました。国によって教育のシステムは違います。興味がある方はぜひ他の国についても調べてみてくださいね!!